



被災地の妊産婦さんとみなさんをつなぐ
東北こそだてレター (被災地の今…)

2016/06/21 配信 vol.40

～ 様々な立場から差し伸べられる母子への手 ～

◆ 支援実績

<支援母子数>

・プロジェクト開始より累計 21,253 組 (2012/7～2016/05)

<活動場所>

- ・岩手 (大船渡、陸前高田、花巻、釜石、大槌、遠野、宮古、久慈)
- ・宮城 (石巻、東松島、女川、気仙沼、亘理、名取、仙台)
- ・福島 (いわき、相馬、南相馬)
- ・福島 (伊達、二本松、須賀川、白河、郡山、猪苗代町)
- ・新潟 (長岡)
- ・埼玉 (川越)・神奈川 (横浜)・東京 (中野)

<活動内容>

育児相談会／茶話会／ベビーマッサージ／ベビ体操／
ママのリフレッシュ体操／親子ピクス／仮設巡回訪問

みなさま、こんにちは。 一般社団法人ジェスペールです。

梅雨に入りましたが、首都圏は水不足が心配されています。水不足は昨年からの初めにかけての積雪不足も関係しているそうですが、世の中の事象には色々な要因が絡んでいるのですね。

さて今回は、前回と引き続きジェスペールを支えてくださっている企業と個人の方をご紹介します。

被災地での「これから」と「今」、そして「未来」。どうぞ最後まで、ご覧ください。

◆ 千趣会様「えがおの森プロジェクト：ハハトコ東北基金」の被災地支援
<http://www.egaono-mori.jp/hahatoko/>

千趣会様は、2013年からは東北地方のママと子供達を支援するため「東北ハハトコかけはしプロジェクト」を開始、現在に至るまでジェスペールにも寄付金による支援を継続いただき、今年5月にもご寄付くださいました。

千趣会様にはいつもご協力いただき、深く感謝申し上げます。

このプロジェクトは主に、プロジェクトに寄せられた募金や協賛商品の売上の一部から「かけはしおくるみ」を作成し、子育て支援団体や自治体、病院を通じて東北のママにプレゼントしています。

以前には、福島県助産師会へ「かけはしおくるみ」を150枚を寄贈いただき、福島県内9か所のサロンやクリニックで配布されました。

また、おくるみをきっかけに繋がりを持つことが出来た子育て支援団体の活動を「ハハトコスマイルサポート」という形で応援されていますが、ジェスペールが支援している団体にも支援をいただいています。

復興支援まんまるや大船渡こそだてシップに手作りキットをご提供いただき、サロンで皆でワイワイ楽しみながら小物を作成しました。



また、ベビースマイル石巻が育児フェスの際に協働してイベントを行っています。

このプロジェクトの資金となる「ハハトコ東北基金」は現在も募集中です。熊本支援のための募金も開設しています。

また、「東北ハハトコかけはしプロジェクト」が所属しているプロジェクトである『えがおの森プロジェクト (<http://www.egaono-mori.jp/index.html>)』では女性に有益な情報も見ることができます。

皆様ぜひ一度プロジェクトページ (<http://www.egaono-mori.jp/hahatoko/>) をご覧になってみてください。

◆ 継続して寄付をしてくださる、プロタール恵さんのご紹介（代表 宗祥子）

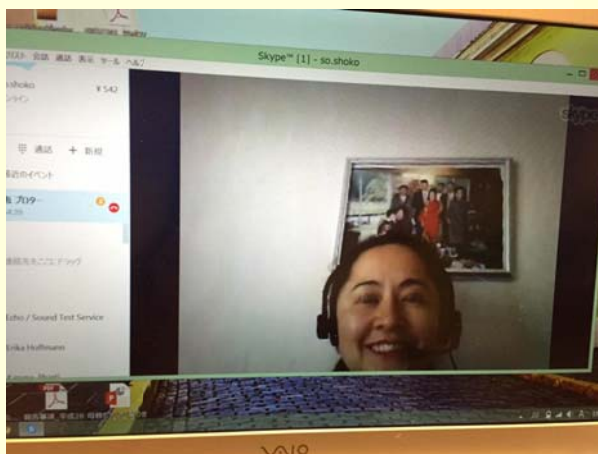
プロタール恵さんは現在、フランスのジェクス（Gex）という町にお住まいです。

ジェクスはスイスのジュネーブから近い場所にあり、ジュネーブの国際関連団体に勤める人も数多く住む、大変グローバルな地域だということです。

プロタールさんは、この遠い場所で、2011年の夏から今に至るまで寄付を続けてくださっています。

◆◆プロタールさんがジェスパールへ支援を行い始めるまで

2011年の東日本大震災（以下「震災」）の時、プロタールさんはフランスからテレビで映像を見て大変な衝撃を受けました。日本のことをよく知っている友人たちも心配して、プロタールさんに何かできることはないかと次々と電話をくれました。



この時、プロタールさんは自分だけで何かをするのではなく、地域の人々に日本を知ってもらい、日本文化への理解を得ながら、震災の被害に対して少しでも貢献したいと考えました。

そして、震災に対するさまざまな支援活動を調べ、その中でも、被災母子を支援するジェスパールの活動が最も気持ちに沿う活動であると感じて寄付先に選んだことで、ご縁が繋がりました。

2011年の夏、プロタールさんが日本に帰国した際には、ジェクスの街の人々が祈りを込めて折った千羽鶴と、それを作った方々からの寄付金を贈ってくださいました。

◆◆震災支援者という立場から日本文化を広める立場に

プロタールさんにはフランス人のご主人との間にお二人のお子さんがいて、2006年からフランスで暮らしています。

暮らし始めた時は下のお子さんはまだ乳幼児。フランス語も全然話せない中、子どもたちを育てるために、どうしてもフランス語を話せるようになりたいと、必死でフランス語を学んでいました。

ジェクスの国立文化センターもプロタールさんがフランス語を学ぶ場のひとつでした。

震災直後プロタールさんは、被災地にお見舞いの気持ちを送るために、この文化センターで千羽鶴をみんなで作り、被災地に届けたいと考えました。そしてそのために折鶴を教える会を作りたいとセンター長に申し出て、2011年3月の震災直後から、毎週水曜日、街の人々に折鶴を教える教室を開きました。

このような活動を通して日本の文化を地域に根付かせ、現在はジェクスの人々に生花や折り紙、日本語、料理を教えています。

さらに、毎年ご自身の手で行うバザーで、寄付金を募り私たちが応援して下さっています。現地の新聞でも取り上げられ、プロタールさんの活動は地域の多くの方々に共感されています。熊本の震災についてもフランスから支援の気持ちを示して下さっています。

このように、遠い海外からも私たちの活動に心を寄せて応援して下さる方がいることは本当に私たちの励みになっています。

◆ ウェブムービー「キミにいちばん」のご紹介（「パンパースの肌へのいちばん」シリーズ新発売記念）

赤ちゃんの素敵な笑顔と、赤ちゃんの周りの人たちが日常の中でふと赤ちゃんのために見せる優しさで、心が温くなるウェブムービーをご紹介します。

このウェブムービー「キミにいちばん」は、P&G パンパースが「パンパースの肌へのいちばん」シリーズの新発売を記念して作成したムービーです。

「キミにいちばん」は、ママと赤ちゃんのまわりの人々が“キミに、いちばんのことをしてあげたい”という気持ちで日々子育てをしている様子が、子守唄にのせて描かれています。

温かい気持ちになれる「キミにいちばん」(<https://youtu.be/LsugKLnIxWg>) をぜひご覧になってください。

◆ プロジェクト応援のお願い

ジェスペールの「東北こそだてプロジェクト」は、被災地の母子を支援する助産師の活動を支援しています。

皆様からいただいた温かいご支援は活動の原動力となっています。

被災地の母子を今後も継続してサポートしていくため、妊産婦支援に関するお志を同じくするお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ぜひ下記サイトをご紹介します。

<http://tohokumama.org/donation/>

また、皆様からの励ましのお声も、現地の助産師や被災地で子育て中のお母さん、ジェスペールメンバーの力になります。ご寄付いただく際に励ましのお言葉を添えていただいたり、当メールマガジンへのご感想などをお寄せください。



発行者： 一般社団法人ジェスペール

公式ホームページ：<http://tohokumama.org/>

Twitter：<https://twitter.com/tohokumama>

お問い合わせ先：info@tohokumama.org

Facebook：<http://www.facebook.com/tohokumama>